

埼玉県マスコット「コバトン」

令和5年度

埼玉農業大賞表彰式

とき：令和5年11月25日(土)

ところ：熊谷スポーツ文化公園

Saitama Agricultural Awards

熊谷市の水田



彩の国
埼玉県

目 次

埼玉農業大賞について	1
選考経過報告	2
埼玉農業大賞受賞者	3
埼玉農業大賞 経営体部門 受賞者紹介	4
株式会社はせがわ農園	6
渋沢ぐるーぷ株式会社	7
埼玉農業大賞 地域貢献部門 受賞者紹介	8
株式会社いるま野アグリ	10
鴻巣市花組合	11
JAちちぶカボス部会	12
埼玉農業大賞 革新的農業技術部門 受賞者紹介	14
ASTRA FOOD PLAN 株式会社	16
株式会社レグミン	17



このたび、令和5年度埼玉農業大賞を受賞された皆様に心からお祝いを申し上げます。

埼玉農業大賞は、優れた農業経営や革新的な農業技術の活用に取り組み、埼玉農業の振興や地域活性化に貢献された方々の功績を称えるとともに、そのビジネスモデルを広く発信し、埼玉農業を更に発展させていくことを目指しています。近年、アグリテックなどのテクノロジーを活用した新たな農業が注目されていることを踏まえ、今年度から革新的な農業のモデルを作っている企業等を表彰する革新的農業技術部門を新設しました。

受賞された皆様は、これからの埼玉農業のモデルとなる先駆的な取組をされています。

皆様の農業に対する並々な熱意とたゆまぬ努力に対し、深く敬意を表するとともに、その優れた技術力や経営能力を存分に発揮し、今後の埼玉農業の発展に格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、本県は温暖な気候や肥沃な土壌、豊かな水に恵まれています。また、大消費地である首都圏の中央に位置し道路網や鉄道網が充実した交通の要衝であり、多数の食品関連産業が立地しています。

こうした強みを生かし、本県では農業産出額が全国第6位の花き、第9位の野菜をはじめ、米、麦、果実、畜産など多彩な農畜産物が生産されています。

一方、農業を取り巻く環境には、生産者の減少や原油・資材価格の高騰、気候変動による農作物への影響や災害の深刻化など様々な課題もあります。こうした中、今回の受賞者の取組にあるように、顧客ニーズを捉えた新たな品目へのチャレンジ、農家の作業負担軽減に向けた支援、SDGsの達成に資する食品ロスの削減など、社会環境の変化に柔軟に対応する新たな取組が各地域で始まっています。

県としても、こうした環境変化に的確に対応するため、将来の埼玉農業を支える新規就農者や経営力に優れた担い手を育成するとともに、県産農産物の需要拡大や先端技術を活用したアグリテックを推進し、埼玉農業の持続的な発展を目指してまいります。

結びに、本日受賞された皆様の今後ますますの御活躍を祈念いたしますとともに、本事業に御協力いただいた皆様に心からお礼を申し上げます。

令和5年11月25日

埼玉県知事 大野元裕

埼玉農業大賞について

(1) 趣 旨

埼玉農業大賞は、環境の変化に対応して本県農業の模範となる優れた農業経営を實踐する方、地域農業の振興や社会の活力向上に優れた功績を上げている方、テクノロジーを活用して本県農業に変革をもたらす革新的な農業のモデルを作っている方に、知事の表彰状を贈り、その成果を称え広く紹介することによって、本県農業の持続的な発展に資するものです。

(2) 表 彰

賞の対象は、県内で意欲的に農業を営む個人・法人又は団体、県内で革新的な農業のモデルを作る企業等とし、埼玉農業大賞に、経営体部門、地域貢献部門、革新的農業技術部門を設けています。

表彰は、各部門で、最も優秀な者それぞれ1点を大賞とし、また、大賞に次ぐ優秀な者それぞれ原則1点を優秀賞として賞します。

(3) 主 催

埼玉県

(4) 後 援

埼玉県農業協同組合中央会、埼玉県信用農業協同組合連合会、
全国農業協同組合連合会埼玉県本部、
全国共済農業協同組合連合会埼玉県本部、
埼玉県農業共済組合、一般社団法人埼玉県農業会議、
公益社団法人埼玉県農林公社、一般社団法人埼玉県畜産会
一般社団法人埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会
公益財団法人埼玉県産業振興公社

(5) 特別協賛

J Aグループさいたま

選考経過報告

(1) 募 集

令和5年5月24日(水)から令和5年7月7日(金)までの間、埼玉農業大賞の募集をした結果、自薦・他選により経営体部門4点、地域貢献部門6点、革新的農業技術部門5点の応募がありました。

(2) 選 考

埼玉農業大賞表彰要綱第5条第2項の規定に基づき、埼玉農業大賞選考委員会を組織し、次のとおり選考委員会を開催しました。

ア 埼玉農業大賞選考委員会幹事会の開催

令和5年8月24日(木)、埼玉農業大賞選考委員会幹事会を開催し、予備選考を実施しました。

イ 埼玉農業大賞選考委員会の開催

令和5年9月13日(水)、埼玉農業大賞選考委員会を開催し、各部門で大賞及び優秀賞の選考を実施しました。

埼玉農業大賞選考委員会

役 職	氏 名	備 考
委員長	篠崎 豊	学識経験者
副委員長	西田 秀生	埼玉県農業協同組合中央会 常務理事
委 員	江口 幸治	埼玉大学大学院人文社会科学研究科 准教授
委 員	近藤美恵子	中小企業診断士
委 員	鈴木 顕	(株)日本政策金融公庫さいたま支店 農林水産事業統轄
委 員	黒木 佳恵	関東農政局生産部生産技術環境課 農政調整官
委 員	秋山千奈津	関東経済産業局地域経済部次世代産業課 課長補佐

(3) 選考結果

応募されました事例はいずれも優れた農業経営や革新的な農業技術の活用に取り組み、また、埼玉農業の振興や地域活性化に優れた活動を行うものであり、選考は難航しました。

選考の結果、経営体部門の大賞として1法人、優秀賞として1法人、地域貢献部門の大賞として1法人、優秀賞として2団体、革新的農業技術部門の大賞として1法人、優秀賞として1法人を令和5年度埼玉農業大賞受賞者といたしました。

埼玉農業大賞受賞者

(1) 経営体部門

敬称略

区 分	受 賞 者 名
大 賞	<small>かぶしきがいしゃ</small> <small>のうえん</small> 株式会社はせがわ農園（行田市）
優 秀 賞	<small>しぶさわ</small> <small>かぶしきがいしゃ</small> 渋沢ぐるーぶ株式会社（深谷市）

(2) 地域貢献部門

敬称略

区 分	受 賞 者 名
大 賞	<small>かぶしきがいしゃ</small> <small>の</small> 株式会社いるま野アグリ（入間地域）
優 秀 賞	<small>こうのす し はなくみあい</small> 鴻巣市花組合（鴻巣市）
	<small>ぶかい</small> J A ちちぶカボス部会（秩父地域）

(3) 革新的農業技術部門

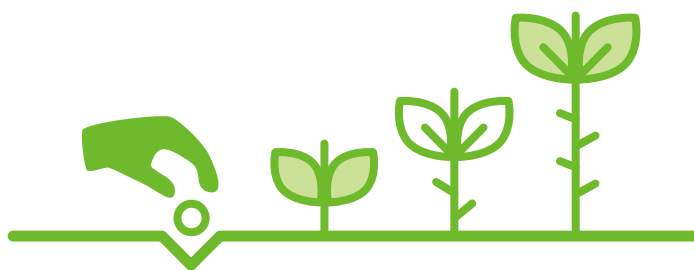
敬称略

区 分	受 賞 者 名
大 賞	<small>あすとら ふーど ぷらん かぶしきがいしゃ</small> ASTRA FOOD PLAN 株式会社（富士見市）
優 秀 賞	<small>かぶしきがいしゃ</small> 株式会社レグミン（深谷市）

埼玉農業大賞

経営体部門

受賞者紹介



かぶしきがいしゃ のうえん
株式会社 はせがわ農園

1 経営概要

- (1) 所在地 行田市 はせがわ ひろし
(2) 代表者名 代表取締役 長谷川 浩
(3) 経営内容 水稲 23.8ha、麦類 24.0ha、豆類 5.5ha、なし 1.0ha

2 受賞理由

- (1) 業務用主食用米、米粉用米、有機米、二条大麦、もち性二条大麦、なし等を組み合わせ、安定した農業経営に取り組んでいる。
- (2) 社会情勢や顧客ニーズを捉え、新たな品目、新たな栽培技術、新たな販売方法に継続してチャレンジし、経営を発展させてきた。
- (3) もち性二条大麦キラリモチの取組では、国や県と連携した品種特性の把握、産地品種銘柄への登録、県学校給食会と連携した需要の創出などを進め、地域での作付面積拡大に大きく貢献している。
- (4) なしは、全個糖度測定を行い、基準以下のものは販売しない徹底した商品管理により、顧客満足度を高めている。



㈱はせがわ農園の皆さん
(左から1番目が代表取締役の長谷川浩氏)



もち麦の収穫作業

しぶさわ

かぶしきがいしゃ

渋沢ぐるーぷ株式会社

1 経営概要

- (1) 所在地 深谷市
- (2) 代表者名 代表取締役 しぶさわ のぶひろ 渋澤 信博
- (3) 経営内容 ミニトマト 5,478 m²

2 受賞理由

- (1) 令和4年に就農した後継者が、従業員の管理作業の統一のため、管理作業についてまとめた作業マニュアルを作成し、マニュアルに基づいて従業員向けの研修を行うとともに、マニュアルの内容について研修の場で話し合い、現場のニーズに合った内容へ改善している。
- (2) 従業員全員分の空調服の導入、子育て世代に配慮した雇用形態の設定など、従業員が働きやすい環境を実現している。



渋澤至真氏（左）、渋澤信博氏（右）
【後継者】 【経営主】

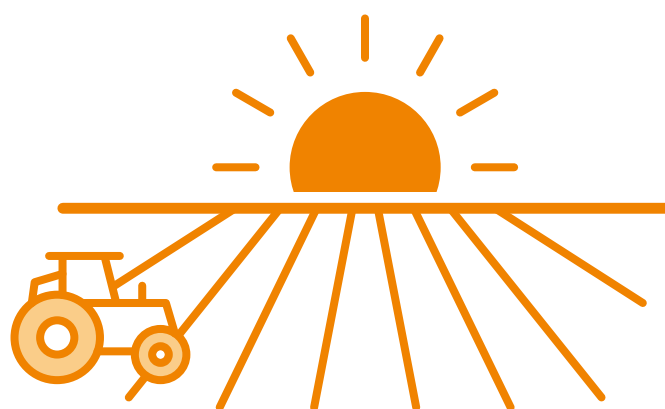


従業員の作業風景

埼玉農業大賞

地域貢献部門

受賞者紹介



かぶしきがいしゃ の
株式会社 いるま野アグリ

1 経営概要

- (1) 所在地 入間地域
- (2) 代表者名 代表取締役社長 かとう えいじゅ 加藤 榮壽
- (3) 経営内容 水稲 36.1ha、麦類 33.0ha、大豆 21.0ha

2 受賞理由

- (1) 農地中間管理機構を活用した農地の集積、農作業受託、水稲苗・野菜苗の生産供給、担い手の育成など、地域農業の課題を解決する取組をしっかりと積み上げている。
- (2) 農作業受託や水稲苗・野菜苗の生産供給により農家の労働軽減や作業の省力化に貢献している。
- (3) 農業大学校卒業生や地域の農家子弟等を社員として受け入れ、学んだ技術やノウハウを生かして独立する担い手を育成している。



（株いるま野アグリと関係者の皆さん
（前列左から3番目が代表取締役社長の加藤榮壽氏）



小麦刈り取り前に穀粒水分を確認する社員

こうのす し はなくみあい

鴻巣市花組合

1 団体概要

- (1) 所在地 鴻巣市
- (2) 代表者名 組合長 なりさわ のぶひろ 成澤 伸浩
- (3) 構成員 62人

2 受賞理由

- (1) 日本を代表する花き産地となるという目標に向けて、組合員が積極的に自分たちを発信し、花のまちづくりを進めている。
- (2) こうのす花まつり等各種イベントへの出展や市内各所への花植え事業の実施により、「花のまちこうのす」のPRを行っている。
- (3) 市内全小学校での花育活動は教育関係者にも支持され、将来の花き消費者の確保を図る活動として継続している。



組合長 成澤伸浩氏



こうのす花まつり

J A ちちぶ カボス部会

1 団体概要

- (1) 所在地 秩父地域
- (2) 代表者名 部会長 やまぐち たつお 山口 辰雄
- (3) 構成員 34人

2 受賞理由

- (1) かぼす栽培という新たな取組を一から始めて生産量を増やし、地域の名産まで育てるとともに、遊休農地の解消に貢献している。
- (2) 生協やベルクへの出荷のほか、近年は小鹿野町の飲食店での「秩父黄金カボス」メニューの開発協力、ヤオコー限定の黄金かぼすサワー販売などの積極的な販路拡大活動により、秩父のかぼすをPRしている。



J A ちちぶカボス部会の皆さん
(前列中央が部会長の山口辰雄氏)

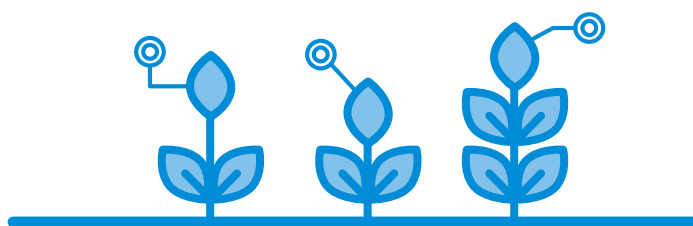


黄金のカボス
(右上が通常のグリーンカボス)

埼玉農業大賞

革新的農業技術部門

受賞者紹介



ASTRA FOOD PLAN 株式会社

1 経営概要

- (1) 所在地 富士見市
- (2) 代表者名 代表取締役 かのう 加納 ちひろ 千裕

2 受賞理由

- (1) 規格外・生産余剰農作物、未利用農産物等を高付加価値な食品パウダーにアップサイクルする『過熱蒸煎機』を開発、販売している。
- (2) これまで捨てていたものを再資源化して販売できるようにすることで、食品ロスの削減と農家の収益向上が期待される。
- (3) 規格外・生産余剰農作物等をJAいるま野から同社が買い取り、粉末加工し、様々な企業と連携して商品開発を行うプロジェクトも進めている。



代表取締役 加納千裕氏



過熱蒸煎パウダー「ぐるりこ」

かぶしきがいしゃ

株式会社 レグミン

1 経営概要

- (1) 所在地 深谷市
- (2) 代表者名 代表取締役 のげ よしひろ 野毛 慶弘

2 受賞理由

- (1) 主に露地野菜で農薬散布を行う自律走行型農作業ロボットを開発した。
- (2) GPS (GNSS) と LIDER による制御技術を組み合わせることで、自律走行の誤差を 1 ~ 2cm 程度に抑え、高精度の自律走行を実現している。
- (3) ロボットを用いて人手不足で困っている農家や農業法人から農薬散布作業を受託する農作業受託サービスをプロトタイプとして展開している。



代表取締役 野毛慶弘氏



農薬散布ロボット

MEMO

コメで勝つ!

元気いっぱい埼玉のお米



彩のかがやき コシヒカリ 彩のきずな

ポスター撮影
メイキング
ムービーは
こちら→



JAグループさいたま 埼玉米販売促進対策本部 | JA全農さいたま TEL.048-799-7000